

マメ科 ソラマメ属

スズメノエンドウ (雀野豌豆)

Vicia hirsuta (L.) Gray

自生環境

土手、野原、道ばた など

原産地

日本在来

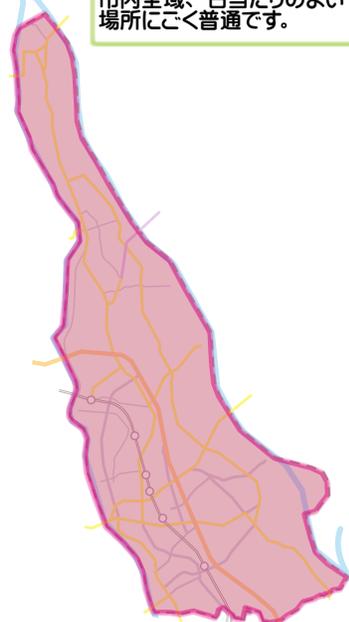
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、日当たりのよい場所にごく普通です。



特徴

- ☆ 日当たりのよい乾燥した場所に普通に生える 1～越年草です。カラスノエンドウと同じ仲間ですが、それに比べると葉や花、果実が小さくて、全体的に繊細な感じであるため、カラスに対してスズメをあてたのが名前の由来です。
- ☆ 春に葉のわきから長い柄をのばし、その先に数個の小さな花を咲かせます。花の大きさは 3mm 程度、白っぽい色をしていますが、よく見るとわずかに紫が掛かっています。
- ☆ 果実はいわゆる豆のかたちをしています。さやは長さ 1cm ほどで、表面には細かい毛がたくさん生えています。中には 2 個の豆(タネ)が入っています。さやは成熟すると黒くなり、パチンと音を立てて弾けます。

巻きひげで支えあう

スズメノエンドウの葉は、12～14 枚ほどの細長い「小葉(しょうよう)」が鳥の羽根のようについて、それで 1 枚の葉をかたちづくっています。先端は巻きひげになっていて、これをつかまりながら、自分の体を支えています。スズメノエンドウが何株も生えている場所では、お互いの巻きひげを絡ませて、支えあいながら茎をのばしていきます。この支えあいはカラスノエンドウにも見られます。



紫がかった小さな白い花が3～5個ずつ咲く

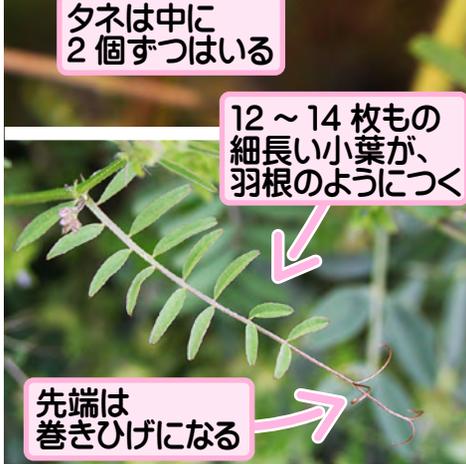


果実は毛深く、熟すと黒くなる

タネは中に2個ずつはいる



全体的に細くてやさしい感じの草



12～14枚もの細長い小葉が、羽根のようにつく

先端は巻きひげになる



おたがいに巻きひげで支えあいながら立ち上がっていく



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

